

「知床」の世界自然遺産への登録について

平成17年9月

「知床」の世界自然遺産への登録について

1. 経緯

世界遺産条約(正式名称:世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約)に基づく世界自然遺産の推薦については、平成15年12月8日に開催された林政審議会において、知床を推薦するとの方針についてご説明し、関係省庁、地元自治体等との調整を経て、平成16年1月に我が国政府としてユネスコ世界遺産センター(世界遺産委員会事務局)に推薦書を提出した。

その後、昨年7月の世界遺産委員会の諮問機関であるIUCN(国際自然保護連合)による現地調査、評価書の作成等を経て、本年7月10日から17日にかけて南アフリカ共和国のダーバンで開催された第29回世界遺産委員会において世界遺産一覧表への記載が決定されたものである。

2. 知床世界自然遺産の概要

(1) 区域等

○所在地:北海道斜里郡斜里町及び目梨郡羅臼町(知床半島の一部)

○面積:約71,000ha(うち陸域48,700ha(うち国有林46,004ha))

※ 当初、推薦面積は56,100haとしていたが、IUCNからの指摘に基づき、海域部分の境界線を海岸線1kmから3kmに拡張することとしたため、面積は概ね71,000haに変更となる予定

○保護の担保措置:

おんねべっだけ

知床森林生態系保護地域、知床国立公園、遠音別岳原生自然環境保全地域等に指定(遺産区域内の国有林は全域を森林生態系保護地域に指定)

(2) 自然環境の主な特徴

○ 知床は世界で最も低緯度の季節海氷域であり、海氷に特徴づけられる海洋生態系と陸上生態系が連続することによって複合生態系を形成しており、海洋生態系と陸上生態系の相互関係を示している。

○ 海岸から約1,600mの山頂部までの間には、人手の入っていない多様な植生が連続して存在しており、豊富な餌資源と多様な環境を背景として、ヒグマは世界的にも高密度で生息している。

- 知床は北方系と南方系の種が混在するなど、地理的位置と多様な自然環境を背景として特異な種構成、分布がみられるほか、シマフクロウ、オオワシ、オジロワシなどの国際的希少種の重要な繁殖地や越冬地となっており、これらの種の存続に不可欠な地域となっている。

(3) その他

- 地域の人々の自然に対する意識は高く、「しれとこ100㎡運動」など自然環境保全に関する様々な活動が行われている。

3. 今後の対応

知床については、登録の審査の過程において、世界遺産委員会の諮問機関であるIUCNから、主に以下の2点について指摘を受けている。

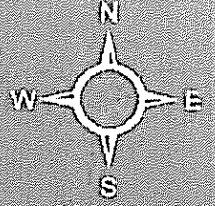
(1) 海域の保護のレベルを高めること

(2) 遺産区域内の河川工作物について、サケ・マスの遡上を確保するための魚道の設置等を行うこと

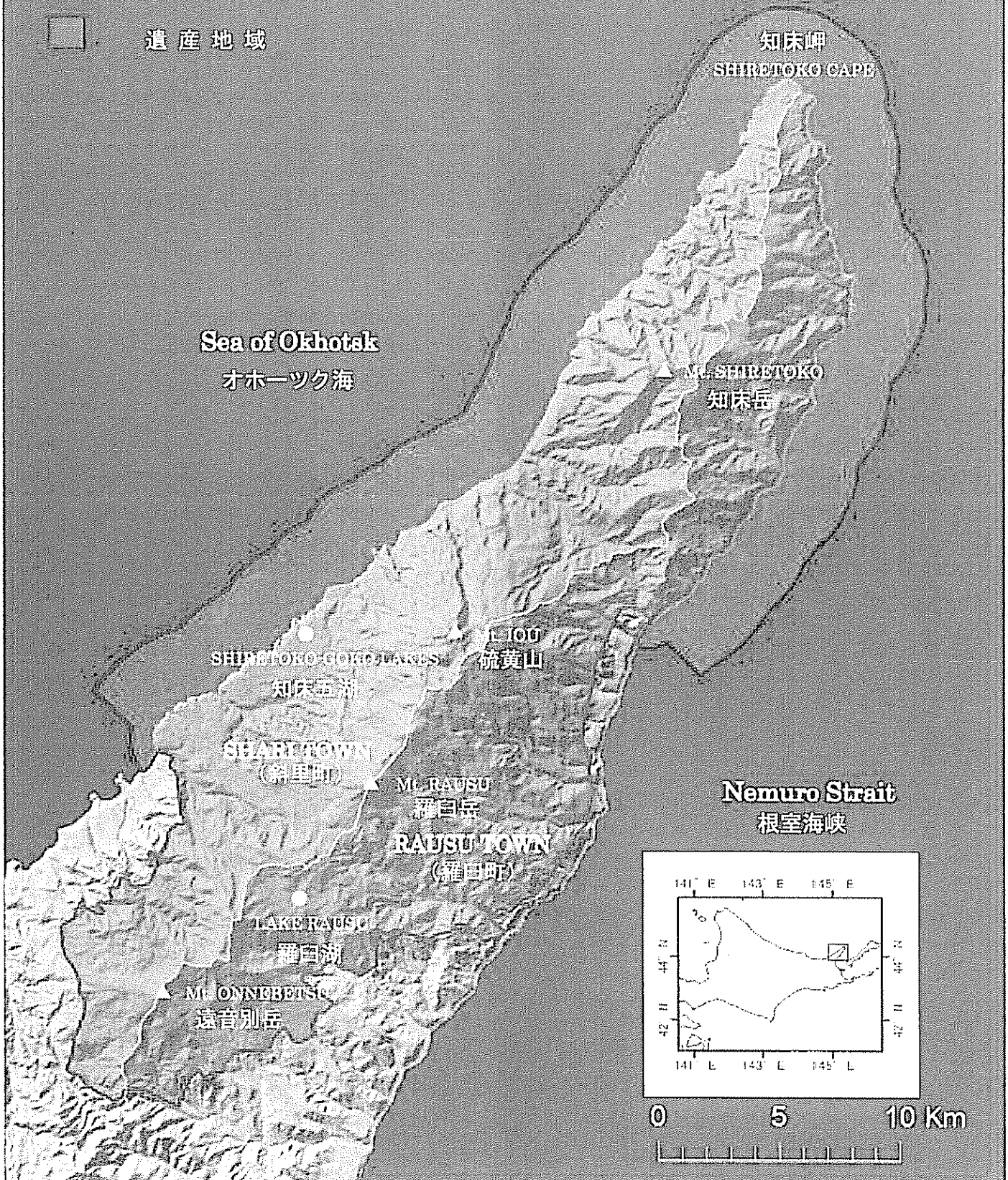
(1)については、海域管理計画を策定すること及び遺産区域の海域を拡張することとしている。なお、海域管理計画の策定に当たっては漁業者が自主的に実施している禁漁等の取り組みを中心に検討することとし、地元漁協等と関係行政機関との間で十分な協議を行い、合意形成を図っていくこととしている。

(2)については、遺産区域内に設置されている河川工作物(治山堰堤等)は、住民の生命・財産を守るために地域の要請に基づき設置されたものであり、必要性がある間は撤去することは難しいが、専門家や地元の意見を聞きながら、サケ・マスが遡上できるような魚道の設置等について検討していくこととしている。

知床世界自然遺産地域 位置図 ※



遺産地域



※海域部分の境界線は予定

世界遺産条約の概要について

1. 条約の概要

- ・正式名称：世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約
- ・目的：顕著で普遍的な価値を有する遺跡や自然地域などを人類全体のための世界の遺産として保護、保存し、国際的な協力及び援助の体制を確立する。
- ・採択：1972年（我が国は1992年に締結）
- ・締約国数：180ヶ国（2005年3月31日現在）
- ・事務局：UNESCO世界遺産センター（パリ）

2. 世界遺産のカテゴリーと登録件数[※]

カテゴリー	対 象	登録件数
文化遺産	世界的な見地から見て歴史上、美術上、科学上顕著で普遍的価値を有する記念工作物、建造物群、遺跡を対象	628
自然遺産	世界的な見地から見て観賞上、科学上又は保全上顕著な普遍的価値を有する特徴ある自然の地域、脅威にさらされている動植物種の生息地、自然の風景地等を対象	160
複合遺産	文化遺産と自然遺産の両面の価値を有するものを対象	24
(合 計)		812

※2005年7月現在

3. 我が国の世界遺産

注：カッコ内は登録年月

【自然遺産（計3地域）】

- (1) 屋久島（H5年12月）
- (2) 白神山地（H5年12月）
- (3) 知床（H17年7月）

【文化遺産（計10地域）】

- (1) 法隆寺地域の仏教建造物（H5年12月）
- (2) 姫路城（H5年12月）
- (3) 古都京都の文化財（H6年12月）
- (4) 白川郷・五箇山の合掌造集落（H7年12月）
- (5) 原爆ドーム（H8年12月）
- (6) 厳島神社（H8年12月）
- (7) 古都奈良の文化財（H10年12月）
- (8) 日光の社寺（H11年12月）
- (9) 琉球王国のグスク及び関連遺産群（H12年12月）
- (10) 紀伊山地の霊場と参詣道（H16年7月）

世界自然遺産

知床



平成17年

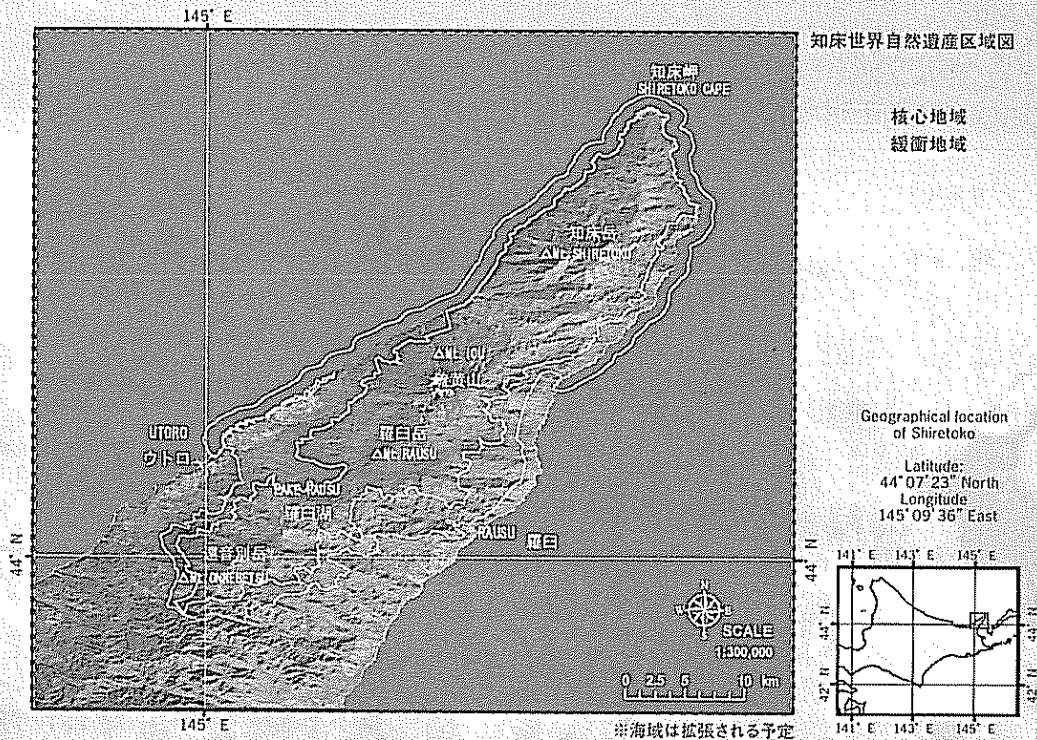
林 野 庁

知床半島は、北海道の東北端に位置し、周囲をオホーツク海と根室海峡に囲まれた、日本の中で原生的な自然環境が保全されている数少ない貴重な地域です。

平成17年7月、人類共通の遺産として、世界自然遺産に登録されました。

〈経緯〉

- 平成15年3～5月 環境省と林野庁が共同で「世界自然遺産候補地に関する検討会」を開催し、「知床」「小笠原諸島」「琉球諸島」の3地域を世界自然遺産の候補地として選定
- 平成15年10～12月 関係行政機関(環境省、林野庁、北海道等)、地元自治体(斜里町及び羅臼町)、地元関係団体を構成メンバーとする「知床世界遺産候補地地域連絡会議」を設置し、管理計画を策定
- 平成16年1月 日本国政府からユネスコ世界遺産センターに対し、推薦書を提出
- 平成16年7月 世界遺産委員会の諮問機関(IUCN)による現地調査
- 平成17年7月 第29回世界遺産委員会において、世界遺産一覧表への登録が決定



自然の特徴

1 生態系

知床は、北半球で最も低緯度で流氷を観測できる地域です。流氷がもたらす栄養分は植物性プランクトンの大発生の原因となり、これを食物連鎖の基礎として、トドやヒグマなどの海や陸にすむ様々な生きものを育てています。このように、知床は、海洋生態系と陸上生態系の相互関係の顕著な見本となっています。



シマフクロウ

2 生物多様性

知床には、固有種であるシレットコスミレやチシマコハマギクなどの希少種が生育しており、また国際的にも希少な種であるシマフクロウやオオワシやオジロワシにとっても重要な地域となっています。さらにヒグマやエゾシカなどの大型のほ乳類が高密度で生息しており、知床の自然の豊かさを示しています。また、限られた地域の中に多様な森林生態系が成立しています。



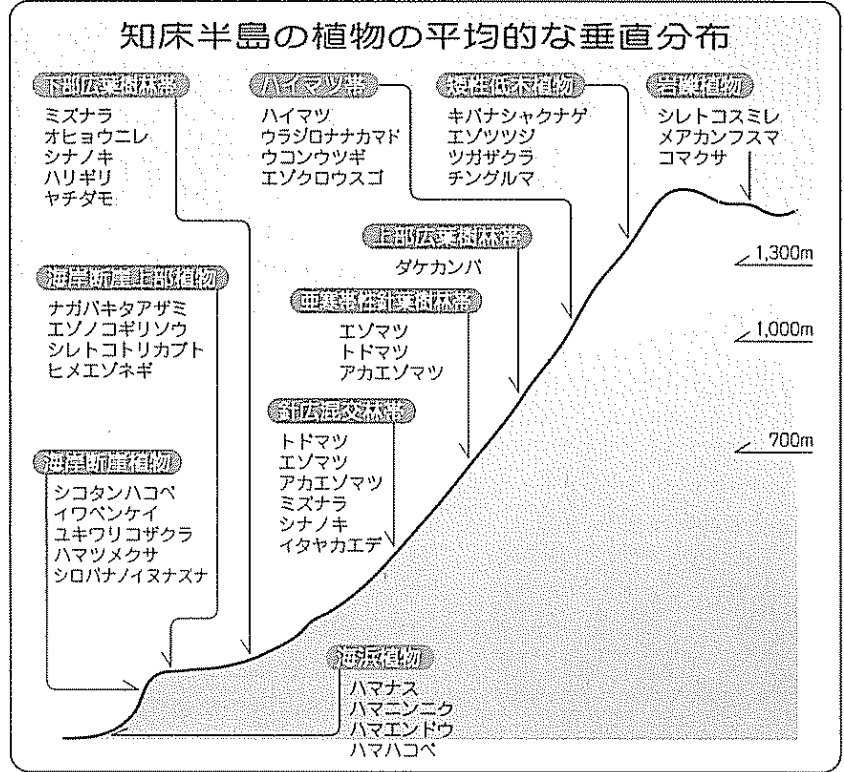
知床の森林

知床の森林は、海岸植物からはじまって、温帯、亜寒帯、高山帯と様々な植物相が連続的に形成されており、また、北方系と南方系の植物が混在して豊かなものとなっています。

知床半島では104科817種の維管束植物が確認されています。また、知床半島固有種のシレトコスミレやシレトコトリカブト、希少種のチシマコハマギクなども生息しています。



シレトコスミレ

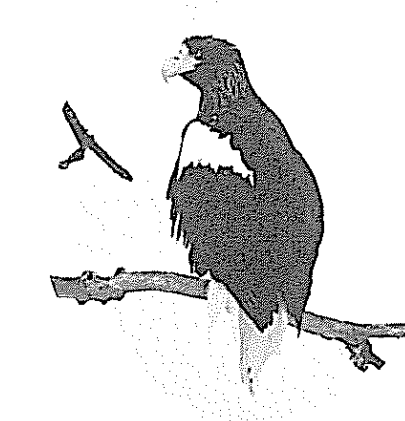




知床の豊かな森林は多様な動物相も支えています。



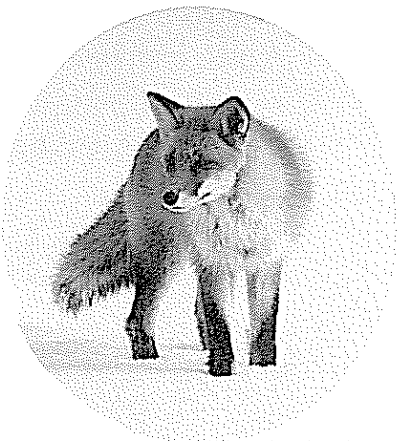
オジロワシ



オオワシ



エゾクロテン



キタキツネ



ヒグマ

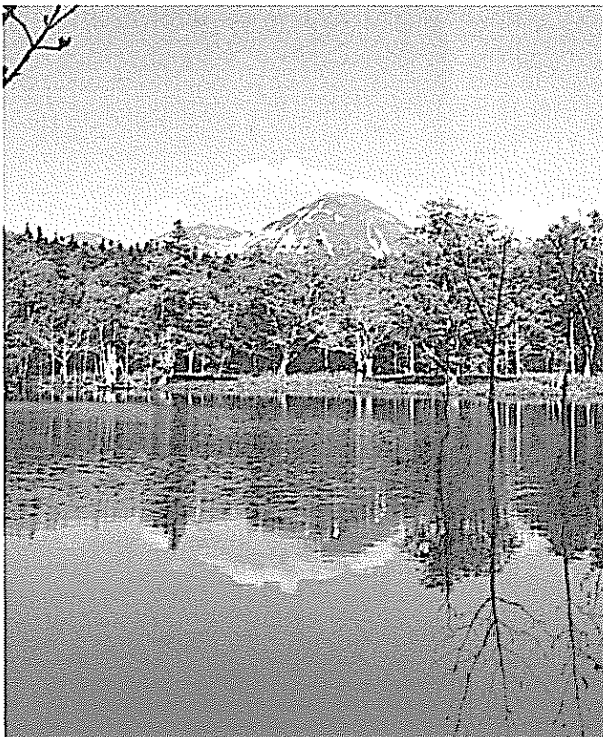
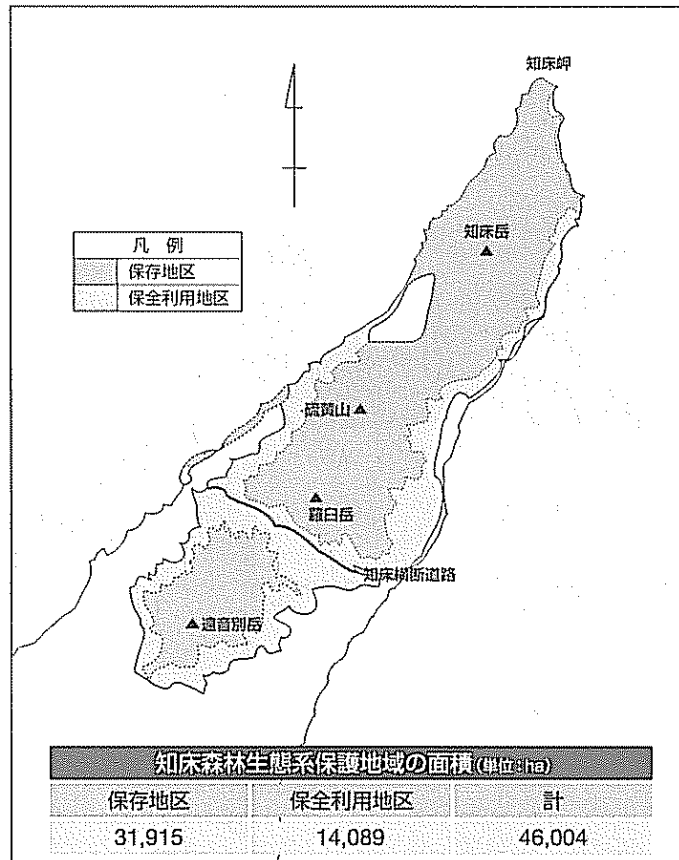


エゾシカ

知床の 森林の保全

世界自然遺産である知床を保全するために林野庁が行っている取組みについて

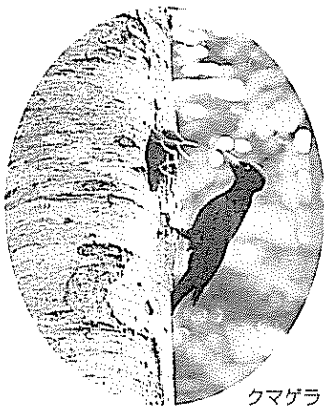
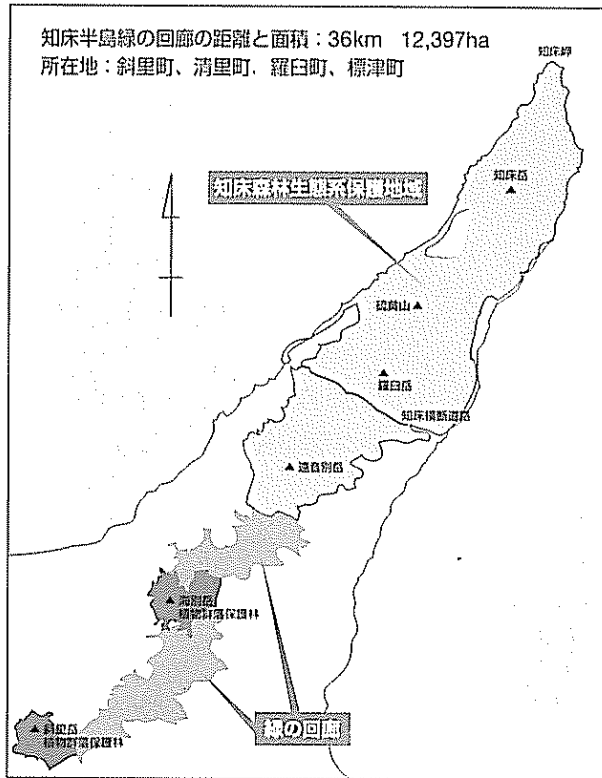
知床世界自然遺産の陸域のほとんどは国有林です。林野庁では、その全てを森林生態系保護地域とし、知床の環境保全に努めています。



知床森林生態系保護地域は、原生的な天然林を保存することによって森林生態系を維持し、そこに生息する野生生物の保護、遺伝資源の保存を図り、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるとともに、その豊かな自然環境を次代に引き継ぐことを目的としています。

なお、森林生態系保護地域内は、原則として人手を加えずに自然の推移に委ねる保存地区と、保存地区に外部からの影響が直接及ばないようにする保全利用地区に区分され、保全利用地区の一部は知床自然観察教育林として、知床の豊かな自然を肌で感じる自然環境教育や保健休養の場として多くの方々に利用されています。

また、知床森林生態系保護地域と、世界遺産区域外にある海別岳植物群落保護林及び斜里岳植物群落保護林を結び、野生生物が広く行き来のできる「知床半島緑の回廊」を設定し、野生生物の多様性を保全し、豊かにするよう努めています。



クマガゲラ

いろいろなタイプの森林があることが、野生生物が生きていく上で重要であり、そのために原始的な森林を残したり、いろいろな木や草が生える多層構造の森林を目指しています。



森林の 管理の体制

林野庁では、知床森林センター、網走南部森林管理署及び根釧東部森林管理署のほか、ウトロ、峰浜及び羅臼の3地区にそれぞれ森林事務所を配置しており、これらの機関が森林法、国有林野の管理経営に関する法律等の関連法令や知床森林生態系保護地域管理計画等に基づき、知床世界自然遺産区域内の国有林の管理にあたっています。

例えば、森林の公益的機能の発揮に関する情報の提供や森林教室の開催などの普及啓発活動及び森林の保全管理のための巡視活動を行っています。

さらに、森林生態系や動植物の現況、人為の影響などの把握に努め、自然遺産として適切な保全管理を図っています。

加えて、治山堰堤を、地域住民の生活に不可欠な観光道路、漁業施設、宿泊施設を災害から守ることなどを目的として、主に地元要望を踏まえて設置しています。今後は、「知床世界自然遺産候補地科学委員会」[※]の中に設置されている河川工作物ワーキンググループや地元の意見を聞きながら検討し、必要な魚道の設置などの対策を進めていきます。

知床の自然環境を将来にわたり適正に保全・管理していくためには、関係行政機関及び地元関係団体等が密接な連携・協力を図っていくことが重要です。

このため、林野庁では、環境省及び北海道とともに、「知床世界遺産候補地地域連絡会議」[※]を平成15年10月に設置するとともに、科学的なデータに基づき必要な助言を得るため、学識経験者による「知床世界自然遺産候補地科学委員会」[※]を平成16年7月に設置し、推薦地の適正な保全・管理方策の検討を進めています。

※知床が世界遺産として正式に登録されたことを受け、会の名称は変更される見込み

また、平成16年1月には、「知床世界遺産候補地地域連絡会議」が中心となって、一般の方からの意見も反映させた、管理の基本方針や、生態系の保全、適正な利用などについて定めた「管理計画」を定めています。



エゾシカによる剥皮対策のため網を巻く

日本の 世界自然遺産に ついて

日本には、知床の他に、屋久島、白神山地の2箇所の世界自然遺産があります。

屋久島

1. 登録年月 平成5年12月
2. 所在地 鹿児島県
3. 面積 10,747ha(うち国有林面積:10,260ha)
4. 自然の特徴 屋久島は、世界的に特異な樹齢数千年のヤクスギをはじめ、多くの固有種や絶滅のおそれのある動植物などを含む生物相を有するとともに、海岸部から亜高山帯に及ぶ植生の典型的な垂直分布が見られるなど、特異な生態系とすぐれた自然景観を有している地域です。



白神山地

1. 登録年月 平成5年12月
2. 所在地 青森県、秋田県
3. 面積 16,971ha(うち国有林面積:16,971ha)
4. 自然の特徴 白神山地のブナ林は、純度の高さやすぐれた原生状態の保存、動植物相の多様性で世界的に特異な森林であり、氷河期以降の新しいブナ林の東アジアにおける代表的なものです。また、様々な群落型、更新のステージを示しつつ存在している生態学的に進行中のプロセスとして顕著な見本となっています。



日本の世界自然遺産である屋久島、白神山地、そして知床のいずれにおいても、国有林が大きな面積を占めており、林野庁はいずれの箇所においても森林生態系保護地域を設定し適正な保全・管理に努めています。

	遺産区域面積(ha)	うち国有林面積(ha)	うち森林生態系保護地域面積(ha)
屋久島	10,747	10,260 (95.5%)	10,236 (95.2%)
白神山地	16,971	16,971 (100%)	16,971 (100%)
知床	56,100	46,004 (82.0%)	46,004 (82.0%)
	うち陸域 48,700	(94.5%)	(94.5%)

※知床の遺産区域面積は海域の拡張に伴い概ね70,000haとなる見込み

世界遺産条約とは

世界遺産条約(the World Heritage Convention)は、正式名称を「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(Convention for the Protection of the World Cultural and Natural Heritage)といい、顕著で普遍的な価値を有する文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として、損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的とするものであり、1972年11月に採択されました。我が国は1992年に締結しました。

世界遺産の3つのカテゴリー

カテゴリー	対 象	登録件数
自然遺産	世界的な見地から見て観賞上、学術上又は保存上顕著な普遍的価値を有する特徴ある自然の地域、脅威にさらされている動植物種の生息地、自然の風景地等 例) ガラバゴス諸島(エクアドル)、グランド・キャニオン国立公園(アメリカ)、グレート・バリア・リーフ(オーストラリア)など	154
文化遺産	世界的な見地から見て歴史上、美術上、科学上顕著で普遍的価値を有する記念工作物、建造物群、遺跡等 例) 姫路城(日本)、アンコールワット(カンボジア)、万里の長城(中国)など	611
複合遺産	文化遺産と自然遺産との両面の価値を有するもの 例) 黄山(中国)、マチュ・ピチュの歴史保護区(ペルー)など	23

※登録件数については2005 4現在

【我が国の世界遺産】

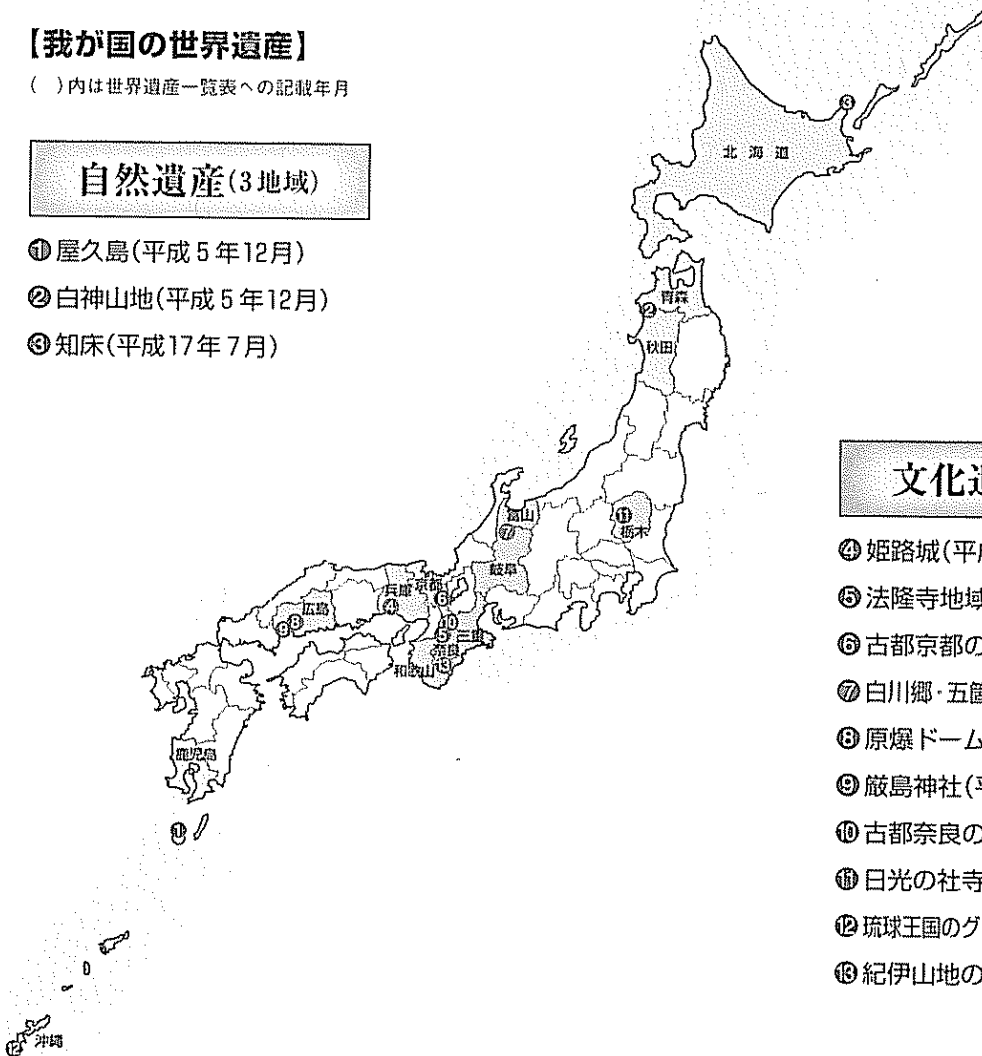
()内は世界遺産一覧表への記載年月

自然遺産(3地域)

- ① 屋久島(平成5年12月)
- ② 白神山地(平成5年12月)
- ③ 知床(平成17年7月)

文化遺産(10地域)

- ④ 姫路城(平成5年12月)
- ⑤ 法隆寺地域の仏教建造物(平成5年12月)
- ⑥ 古都京都の文化財(平成6年12月)
- ⑦ 白川郷・五箇山の合掌造集落(平成7年12月)
- ⑧ 原爆ドーム(平成8年12月)
- ⑨ 厳島神社(平成8年12月)
- ⑩ 古都奈良の文化財(平成10年12月)
- ⑪ 日光の社寺(平成11年12月)
- ⑫ 琉球王国のグスク及び関連遺産群(平成12年12月)
- ⑬ 紀伊山地の霊場と参詣道(平成16年7月)

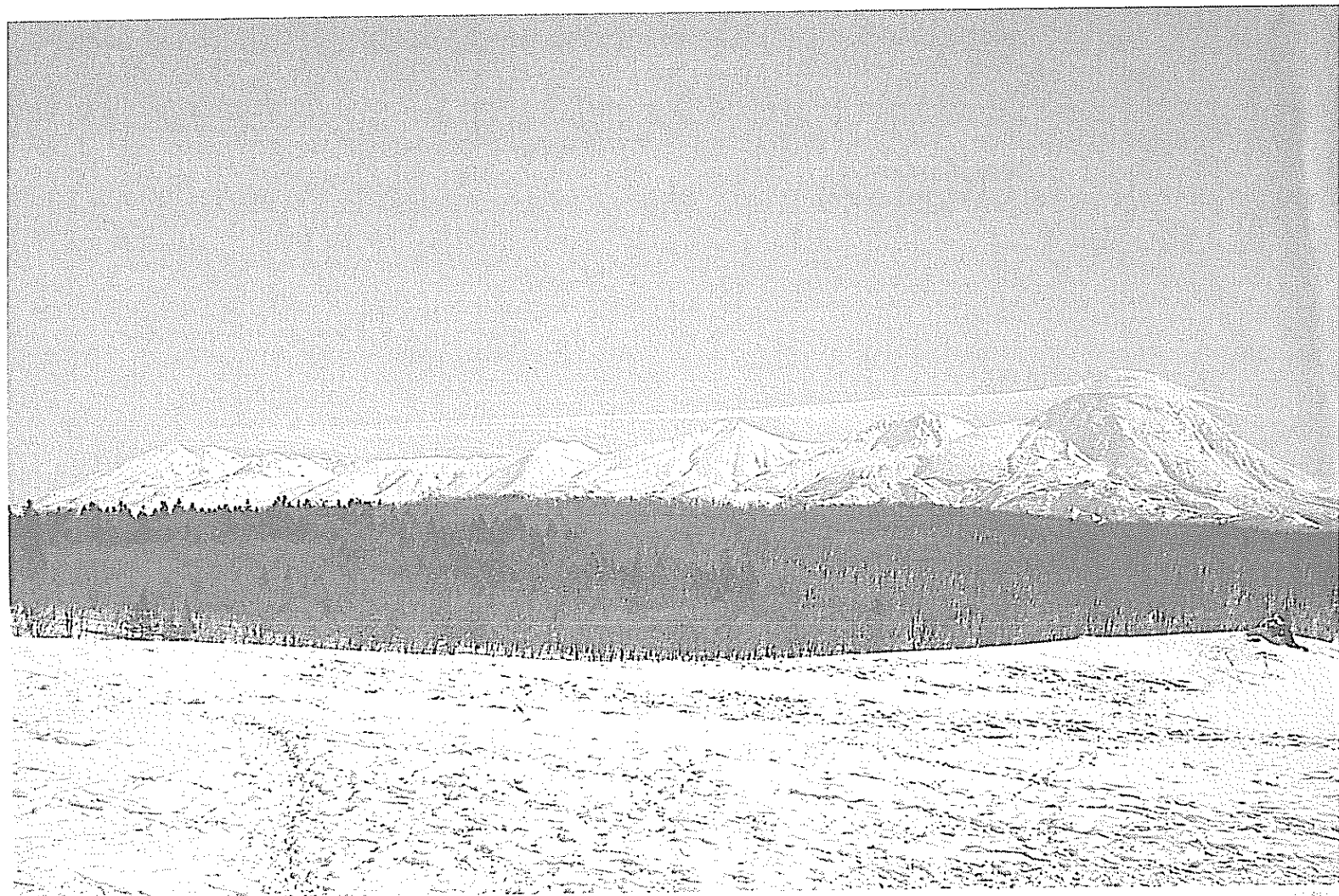


世界自然遺産

知床



この用紙は「間伐材印刷用紙」を使用しております。



このパンフレットに関するお問い合わせ先

- 林野庁森林整備部森林保全課、国有林野部経営企画課
TEL. 03-3502-8111 (6318、6484)
- 北海道森林管理局保全調整課 TEL. 011-622-5231
- 網走南部森林管理署 TEL. 0152-62-2211
- 根釧東部森林管理署 TEL. 01538-2-2202
- 知床森林センター TEL. 01522-3-3009